

特に浸水被害を受けた海岸地域の沿線につきましては、今後ハード的な事業を組み込まなければいけないと考えております。時間がかかるものもございます。復旧・復興計画は次期5カ年計画の大きな柱の事業になっていくと思われまます。

Q 蓮沼海浜公園の展望塔は避難場所に指定されていないが、どうなっているのか。
A 総務部長 どのような利用ができるかということについて、県とも調整し、聞いてみたいと思っております。

Q 蓮沼海浜公園の展望塔は避難場所に指定されていないが、どうなっているのか。
A 総務部長 どのような利用ができるかということについて、県とも調整し、聞いてみたいと思っております。

Q 蓮沼海浜公園の展望塔は避難場所に指定されていないが、どうなっているのか。
A 総務部長 どのような利用ができるかということについて、県とも調整し、聞いてみたいと思っております。

Q 蓮沼海浜公園の展望塔は避難場所に指定されていないが、どうなっているのか。
A 総務部長 どのような利用ができるかということについて、県とも調整し、聞いてみたいと思っております。

A 都市建設部長 緑海橋から産業道路の間の民有地の部分ということですが、けれども、現在、県のほうで境界査定については問題なく終了したのですが、その境界について同意を得られないという方が市外の方で2名います。関係地権者は10名おり、市内の方が6名、市外の方が4名で、近いうちに交渉に入ると聞いております。必要に応じて

私のほうも積極的に協力してまいりたいと思っております。

Q 防風林の復興について、松の生長を考えると50年、60年という時間がかかる。防潮堤も防風林も必要だ。現在、蓮沼海浜公園から砂浜までの間が都市公園法に基づく都市公園として位置づけをされている。また松林は森林法に基づく保安林という位置づけになっている。地域の復興に向けて、海浜公園、防風林、海岸まで含めた中で一体的な整備も視野に入れた中で、次世代のために検討、そして整備が必要と思うがどうか。
A 市長 時代に合った海岸のあり方を作っている

くということとは私も賛成です。蓮沼の海のあり方みたいなものだと思いますが、どのようにしていくのかということについては、御提案、受けとめていきたいと思っております。例えば、今、本須賀海岸には1つ整備をされた立派な海水浴場がございます。蓮沼を見ますと、3つの海水浴場がありますが、昭和の時代というか、そのままの状況で今も夏の間、営業しております。将来を見ますと蓮沼地区も1つにまとめて、本須賀海岸のような、整備をした海水浴場になってもいいのかなと思

くということとは私も賛成です。蓮沼の海のあり方みたいなものだと思いますが、どのようにしていくのかということについては、御提案、受けとめていきたいと思っております。例えば、今、本須賀海岸には1つ整備をされた立派な海水浴場がございます。蓮沼を見ますと、3つの海水浴場がありますが、昭和の時代というか、そのままの状況で今も夏の間、営業しております。将来を見ますと蓮沼地区も1つにまとめて、本須賀海岸のような、整備をした海水浴場になってもいいのかなと思

くということとは私も賛成です。蓮沼の海のあり方みたいなものだと思いますが、どのようにしていくのかということについては、御提案、受けとめていきたいと思っております。例えば、今、本須賀海岸には1つ整備をされた立派な海水浴場がございます。蓮沼を見ますと、3つの海水浴場がありますが、昭和の時代というか、そのままの状況で今も夏の間、営業しております。将来を見ますと蓮沼地区も1つにまとめて、本須賀海岸のような、整備をした海水浴場になってもいいのかなと思



震災以前の防風林



加藤 忠勝 議員

山政研 代表質問

●人口減少の問題について
Q 人口減少問題について、抑止策は。
A 市長 地域全体として、幸せ観を増すというところが抑止策につながるかと考

えています。
Q 市の人口減少をどう歯止めをかけるか。
A 市長 雇用を創出することだと、私は素直に考えています。

●滞納問題について
Q 過去3年間の市税、国税の滞納件数と金額は。
A 市民部長 (表1、2)

滞納の対応策は。
Q 市長 税の徴収業務は、年々、強化をしております。義務感をもう少し持つていただかないと、これ以上の成果が上がらないと思

えています。
Q 市の人口減少をどう歯止めをかけるか。
A 市長 雇用を創出することだと、私は素直に考えています。

国保税を含む市税等の滞納状況 (表1)

年度	滞納人数	滞納額
平成20年度	約1万900人	約15億2,100万円
平成21年度	約1万2,000人	約17億8,000万円
平成22年度	約1万100人	約19億3,400万円

国民健康保険税の滞納状況 (表2)

年度	滞納人数	滞納額
平成20年度	約3,300人	約7億4,000万円
平成21年度	約3,500人	約8億9,000万円
平成22年度	約3,500人	約10億6,800万円

介護保険料の滞納状況 (表3)

年度	滞納人数	滞納額
平成20年度	1,718人	4,660万825円
平成21年度	1,788人	4,900万1,780円
平成22年度	7,101人	3,496万8,900円

Q 介護保険料の現状と方向性は。
A 市長 基幹バスのあり方は、コミュニティの拠点をつないでいくという考え方です。

A 保健福祉部長 (表3)
 介護報酬の改定や介護保険料で賄う財源の割合も変更され、現状の保険料を引き上げざるを得ない状況にあり、月額基準額では1千44円程度の増加をする状況になります。

●公共交通について
Q 基幹バスとデマンドタクシーの利用客の推移は。
A 総務部長 基幹バスは、平成24年1月の1カ月の利用者が2千345人、平成22年1月と比較すると、827人増で154%の増加率です。平成23年度の1日当たりの利用者数の平均は、89・2人です。乗合タクシーは、平成24年1月の1カ月の利用者は3千274人。平成22年1月と比較すると、1千540人増加です。平成23年度の1日当たりの利用者数の平均は、90・8人です。

Q 基幹バスのルート等を変更してはどうか。
A 市長 基幹バスのあり方は、コミュニティの拠点をつないでいくという考え方です。

Q 基幹バスのルート等を変更してはどうか。
A 市長 基幹バスのあり方は、コミュニティの拠点をつないでいくという考え方です。

Q 基幹バスのルート等を変更してはどうか。
A 市長 基幹バスのあり方は、コミュニティの拠点をつないでいくという考え方です。

Q 基幹バスのルート等を変更してはどうか。
A 市長 基幹バスのあり方は、コミュニティの拠点をつないでいくという考え方です。